

2023年12月20日 貨物鉄道輸送150年記念セミナー

2050年の日本を支える貨物鉄道の挑戦

～もっと、地球と地域のために～

JR 貨物篠部常務 閉会挨拶

本日は、運輸総合研究所と共同開催の貨物鉄道 150 周年記念シンポジウムにご来場・ご視聴頂き、誠にありがとうございました。

ご講演・パネルディスカッションにご参画頂いた根本教授、二村教授、坪山准教授、土方主任研究員、秋葉会長におかれましては、中身の濃い貴重なご指摘等、本当にありがとうございました。

2050年の日本を支える貨物鉄道の挑戦というかなり大きなテーマに対して、時間も限られていて申し訳ございませんでしたが、貨物鉄道を全体視野で分析頂き、更に歴史を踏まえ、欧州の政策を踏まえ、物流・荷主の実態を踏まえて、国の政策目標達成等も含めた今後の方向性を的確に整理を頂くという、極めて重要なご議論を頂きましたこと、関係者の今後の取組みに大いなる参考になるものであり、これからしっかり活かして取り組んでいきたいと強く思いました。

先日「JR 貨物の森を福島県に作る」という社会貢献の取組みを始めましたが、これに合わせて福島県副知事に犬飼社長がご挨拶した際「福島県民は東日本大震災で石油緊急物資輸送をしてくれた JR 貨物への感謝は絶対に忘れない」と言っていたと伺いました。

足元なかなか輸送量が伸びず課題も多く事業採算性と戦っている状況ですが、皆様のご協力・ご支援も得てここを乗り越えることができれば、その先輸送量を大きく伸ばして、経営自立も果たす形で世の中

に更に貢献していけると考えます。社会課題解決と「いざまさか」の時のことも含めて貨物鉄道を「うまく使って」頂ければ幸いです。

関係者が連携して、国のお力も頂いて、未来に向かって基幹的鉄道ネットワークで人流、物流トータルのカーボンニュートラル策等に取り組み、貨物鉄道輸送量を大きく伸ばしていくことが、地域の、日本の、そして地球の貢献になるものと信じ、JR 貨物グループ職員一同、パッションを持って精一杯頑張っていきたいと思えます。

本日はありがとうございました。

(以上)